

【資料 3 -1】

事業評価シート

事業名	市民文化祭		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	1	担当課	文化振興課
継続年数（回数）	65回	事業費（R4決算見込額）	3,834,000円
目的	島田市の文化活動の活発化と文化芸術水準の向上に寄与するため、市民誰もが参加でき、気軽に観覧できるような文化祭を目指している。		
内容(詳細)	展示部門（俳句・川柳・華道など）及び音楽芸能部門（ダンス・太鼓・合唱など）への出展または出演を島田市に在住・在勤・在学・活動拠点がある団体・教室に所属している人から募集。		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 島田市、島田市民文化祭実行委員会</p> <p><次年度目標> 継続</p>	
運営 図 画	B	<p><方法> 出展数、出演者数、観客者数を増やすため島田市及び島田市民文化祭実行委員会にて検討。</p> <p><工夫した点>感染症対策を実施し、WS及び茶道体験の実施。チャリティ募金をしてくれた方に陶芸作品の配布。芸術文化奨励賞受賞者の作品展示。</p> <p><次年度目標> 令和4年度の市民文化祭出展者、出演者、観客数の合計人数（5,148人）を上回る。</p>	
マーケティング	A	<p><方法> SNS（市LINE、Instagram）・広報誌 ・FM島田・新聞掲載</p> <p><工夫した点>芸術文化奨励賞の授賞式を文化祭開会式と同時開催することで新聞へ掲載された。課及び文化協会のInstagramをこまめに更新することで周知に繋がった。</p> <p><次年度目標>陶芸、華道、書道、茶道のワークショップを行ったが、集客数にばらつきが生じた。全ての部門を回ってもらえるようにスタンプラリーをするなど検討。</p>	

【資料3-2】

事業評価シート

事業名	市民総合施設プラザおおるり改修工事		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	1	担当課	文化振興課
継続年数（回数）	2年	事業費（R4決算見込額）	8,114,000円
目的	市役所新庁舎建設に伴いおおるり内の市執務室が移転するため、空いたスペースを会議室等に改修し、市民の生涯学習や文化活動の場として提供する。併せてしまだ楽習センター機能を移転し、公共施設を集約する。		
内容(詳細)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度設計、令和5年度改修工事を行う。 ・空きスペースを会議室等に改修する。 ・ホール近くの大型会議室を防音室に改修する。 ・別館を外郭団体事務所、展示・打合せスペース、フリースペースに改修する。 		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要>市、指定管理者（おおるり、しまだ楽習センター）、外郭団体、利用団体</p> <p><次年度目標>庁舎建設に関連する事業であり、市内部でも関連部署が多岐にわたるため、随時経過を共有しながら進める。</p>	
運営 図 画	B	<p><方法>設計に当たって、関係団体の意向を聞く機会を設け、設計に反映した。</p> <p><工夫した点>利用者アンケート、利用者説明会を開催し、意見の聴取に努めた。アンケートで寄せられた意見には、回答をホームページに掲載した。</p> <p><次年度目標>次年度は工事を実施する。利用制限による利用者への不便を最小としつつ、年度内に完了することを目標とする。</p>	
マーケティング	B	<p><方法>利用団体に対する周知：会議に出向き説明、利用者説明会の開催、おおるり窓口配布 市民への周知：広報しまだ、市HP</p> <p><工夫した点>利用者の意見を聴くことと、工事期間における利用制限を周知することの2つを周知の目的とし、それぞれ必要な対応を行った。</p> <p><次年度目標>利用制限による利用者への不便を最小とするため、早期に工事スケジュールを決め、周知を行う。</p>	


【資料 3 -3】

事業評価シート

事業名	諏訪原城宣伝隊の結成・活動		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	2	担当課	博物館課
継続年数（回数）	4回	事業費（R4決算見込額）	1,825,487円
目的	著名人を隊長とすることで、諏訪原城の全国的な認知度を向上させる。		
内容(詳細)	落語家の春風亭昇太氏を隊長とし、副隊長に諏訪原城整備委員会委員の加藤理文氏、隊員に島田市出身の片川乃里子氏を任命した「諏訪原城応援隊」を結成し、年に1回イベントを開催する。		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 島田市、諏訪原城応援隊 <次年度目標> 継続してイベントを開催する	
運営 図 画	B	<方法> 諏訪原城応援隊を招き、午前にトークショーを開催し、午後に現地にてポイント解説会を開催した。 <工夫した点> ガイドツアーではなくポイント解説会とすることで、イベントの進行に余裕を持たせ、応援隊が自由に解説できるようにした。 <次年度目標> 諏訪原城築城450周年記念の年となるため、これまでとは違い、イベント参加者が説明を聞くだけでなく、身体を動かして実際に体験できるイベントにする。	
マーケティング	B	<方法> 諏訪原城公式Instagram、島田市公式HP、島田市公式SNS、新聞掲載、ポスター・チラシ配布、お城好きが良く見るHPへの掲載、ラジオ出演 <工夫した点> ポスター・チラシを、通常の公共施設だけでなく、市内の商業施設にも配架を依頼した。 <次年度目標> 他市など、より広域に情報を発信する	

【資料 3 -4】

事業評価シート

事業名	リージョナルシアター事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	2・8	担当課	文化振興課
継続年数（回数）	1回	事業費（R4決算見込額）	0円
目的	演劇文化の振興とそれによる地域住民のつながりの創出、文化創造の機運醸成		
内容(詳細)	施設職員を対象にしたワークショップ、市民の発想力を養うワークショップ、演劇体験ワークショップ、地域の魅力発見ワークショップをそれぞれ実施した。		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 島田市、一般財団法人地域創造、株式会社まちづくり島田</p> <p><次年度目標> 当初予算化し市主催により継続していける方法を模索する。</p>	
運営  画	B	<p><方法> 島田市及び派遣アーティスト、会館職員による企画・運営を行った。</p> <p><工夫した点> 当初連続した事業であったものを変更し、単発事業を4回実施することで多様な階層にアプローチすることを試みた。</p> <p><次年度目標> 事前にアーティストや運営団体内部との間で、課題意識を十分共有できていなかった。事前に帰結するところを明示したうえで実施するようにしたい。</p>	
マーケティング	B	<p><方法> メール、SNS、ホームページ、FMしまだ、関連団体への声掛け・周知依頼</p> <p><工夫した点> 関連組織、団体（他市町文化施設・市内での活動団体）に直接声掛けを行った。</p> <p><次年度目標> 今回、周知期間が短く十分な告知を行うことができない事業もあった。周知期間を十分に確保し地域の潜在的演劇人材にアプローチできるようにしていきたい。</p>	

【資料3-5】

事業評価シート

事業名	川越し街道賑わい創出プロジェクト		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	3	担当課	博物館課
継続年数（回数）	2年	事業費（R4決算見込額）	0円
目的	川越し街道での交流の促進を行う。		
内容(詳細)	川越し街道でのヒト・モノ・カネの交流の促進を行うことで、川越し街道の認知度の向上と街道の賑わい創出を行うもの。		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 島田市</p> <p><次年度目標> 発展的継続。</p>	
運営 図 画	A	<p><方法> 川越し街道でマルシェを開催することで、本地でのヒト・モノ・カネの交流を促進し、ひいては川越し街道の認知度向上と賑わい創出をさせる。</p> <p><工夫した点> マルシェの開催を民間主体とすること。そのために、川越遺跡や公園、テントやテーブル等の備品も貸し出す。</p> <p><次年度目標> 民間主導のマルシェの開催を10回行う。</p>	
マーケティング	B	<p><方法> 民間のインスタ等のデジタル媒体で情報発信する他、市の支援として、市HPや市LINEによる情報配信を行う。</p> <p><工夫した点> 極力、市の歳出と職員の人件費を掛けないようにするため、民間を活用すること。そのためには、民間もWin状態にする必要があるため、市が支援することで更なる情報発信と、信用を付ける。</p> <p><次年度目標> 団体と連携し、必要な支援を行う。</p>	

【資料3-6】

事業評価シート

事業名	モンゴル紹介授業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	3	担当課	文化振興課
継続年数（回数）	4	事業費（R4決算見込額）	210,000円
目的	島田市役所に勤務しているモンゴル国籍の職員が小中学校の児童・生徒にモンゴルを紹介して、東京2020オリンピックレガシーを伝える。		
内容(詳細)	講師の職員が小中学校に出向き、総合学習などの時間を使って、モンゴルの紹介（モンゴル語、モンゴルの自然・文化・暮らし・学校生活など）授業を行う。		
評価内容			
運営組織	A	<p><組織概要> 島田市</p> <p><次年度目標> なし（講師を務める職員は、令和4年度末で任期満了となるため、令和5年度以降は実施しない。）</p>	
運営企画	B	<p><方法> 児童・生徒の関心をひくような授業とするため、学校の担当教諭と事前打合せを行い、内容を検討している。</p> <p><工夫した点> モンゴルの風景・文化・学校生活など、写真で紹介。休み時間に、児童・生徒が民族衣裳の試着体験が可能。</p> <p><次年度目標> なし（講師を務める職員は、令和4年度末で任期満了となるため、令和5年度以降は実施しない。）</p>	
マーケティング	A	<p><方法> ・校長会での案内 ・SNS(Instagram)、市HPでの情報発信</p> <p><工夫した点> ・年度当初に開催される校長会でPR ・国際交流協会のInstagramを活用して、授業内容を掲載</p> <p><次年度目標> なし（講師を務める職員は、令和4年度末で任期満了となるため、令和5年度以降は実施しない。）</p>	

【資料3-7】

事業評価シート

事業名	お城EXPO・山城サミット出展		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	4	担当課	博物館課
継続年数（回数）	4年	事業費（R4決算見込額）	900,000円
目的	諏訪原城を全国にPRするため		
内容(詳細)	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に横浜で開催されるお城EXPOへの出展 ・毎年会場替わりで開催される山城サミットへの出展 		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 島田市、お城EXPO実行委員会</p> <p><次年度目標> 継続してお城EXPOに出展する</p>	
運営 ^図 画	B	<p><方法> お城EXPO実行委員会に出展を申込み、展示品やグッズを制作し、当日ブースで展示・販売を行った。</p> <p><工夫した点> 初めて開催した諏訪原城フォトコンテスト入賞作品を展示し、現在の諏訪原城の状況を来場者に知ってもらえるようにした。</p> <p><次年度目標> 諏訪原城築城450周年記念の年となるため、特別なEXPO限定御城印を販売し、注目度をより向上させたい。</p>	
マーケティング	B	<p><方法> 諏訪原城公式Instagramで限定グッズの紹介を行った お城好きがよく見るサイトに限定御城印の記事を掲載した。</p> <p><工夫した点> Instagramのストーリーズで何回かに分けてグッズの紹介を行うことで、情報がより多くの人目に留まるようにした。</p> <p><次年度目標> 諏訪原城築城450周年記念の年となるため、島田市公式HPにもお城EXPOに関する情報を掲載するなどして、より多く発信を行う。</p>	

【資料3-8】

事業評価シート

事業名	文化芸術公式YouTube、Instagram		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	4	担当課	文化振興課
継続年数（回数）	2年	事業費（R4決算見込額）	0円
目的	市内での開催催事及び市ゆかりアーティストの活躍を周知する。 令和4年度からは、Instagramを開設し機動的にイベント情報を発信。		
内容(詳細)	主催団体やアーティストからデータを受け取り、YouTubeにて配信（R2年度より実施） 市内での文化事業をInstagramにより発信（R4年度より実施）		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 島田市、配信希望者</p> <p><次年度目標> イベント主催者及びアーティストへ事業の周知を行う。</p>	
運営画面	B	<p><方法> YouTube：イベント主催者及びアーティストからの動画提供を受ける。</p> <p><工夫した点> 市主催事業について、告知動画を掲載。民間の事業も掲載することとし、取扱ポリシーを作成。</p> <p><次年度目標> コンテンツを充実させ魅力あるサイトとする。</p>	
マーケティング	B	<p><方法> 関係団体のフォロー。 課から発信する文書にQRコード掲載。</p> <p><工夫した点> 課Instagramの紹介文へURLの掲載。プラザおおるり施設内、文化情報発信コーナーへQRコード掲載。</p> <p><次年度目標> YouTube：登録者数82人（12/1時点）の増加。 動画投稿数2件以上。</p>	

【資料 3 -9】

事業評価シート

事業名	諏訪原城跡整備事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	5	担当課	博物館課
継続年数（回数）	11	事業費（R4決算見込額）	9,007,140円
目的	諏訪原城跡の整備を行い、保護することにより、認知度・愛着度の向上を測る。		
内容(詳細)	諏訪原城跡の史跡整備工事の実施及び大手曲輪堀の基本設計を策定する。		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 島田市、島田市諏訪原城跡整備委員会 <次年度目標> 継続	
運営 図 画	B	<方法> 島田市諏訪原城跡整備委員会に諮り、後世に伝えるべく整備手法について審議した。 <工夫した点> 城跡の見学者には、史跡整備工事が見学できるようにした。 <次年度目標> 引き続き、島田市諏訪原城跡整備委員会と協議し、史跡整備事業を実施していく。	
マーケティング	B	<方法> 島田市ホームページ、諏訪原城Instagram <工夫した点> 諏訪原城のInstagramに事業の掲載 <次年度目標> 見学者にとって、諏訪原城跡の整備事業の進捗状況がわかるように整備工事の公開を実施していく。	

【資料3-10】

事業評価シート

事業名	街道宿場イベント事業「和菓子バル」		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	6	担当課	博物館課
継続年数（回数）	4	事業費（R4決算見込額）	1,500,031円
事業終期年度(予定)			
目的	川越し街道の認知度向上。街道の賑わい創出。他の観光事業等との連動。		
内容(詳細)	川越し街道の歴史と風情を活かし、番宿や街道を活用した和文化的イベントを行う。		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 高校生、大学生、島田きものさんぽの会、商工会議所、観光協会、JR東海等と連携（R4は、高校生及びJRとの連携なし）</p> <p><次年度方針> 将来的には、行政主導ではなく、民間主催となるような仕組みづくりを行う。</p>	
運営 図 画	A	<p><方法> 和菓子販売を軸に、静岡産業大学生及び静岡英和大学生の考案したイベントや、着物で川越し街道を歩くイベント、お囃子の演奏などを実施した。</p> <p><工夫した点> 和菓子販売以外はそれぞれの団体が主催した。また、JR東海の都合により、今回はさわやかウォーキングとの連携ができなかったため、例年以上に誘客PRに力を入れた。</p> <p><次年度方針> 小ぶりでもいいので同様のイベントやマルシェなどを数多く行い、民間団体に経験値を積み、活用による賑わいの雰囲気を醸成していく。</p>	
マーケティング	A	<p><方法> (1) 静岡産業大学のゼミと連携し、チラシ・ポスターデザインやインスタグラムの発信を依頼。 (2) 市内および藤枝市内の全小学校にチラシを配布。</p> <p><工夫した点> ターゲットに1つを家族としたため、市内全小学校にイベントチラシを配布した。また、隣接する藤枝市にも認知をさせたいため、藤枝市内の全小学校にもチラシを配布した。</p> <p><次年度方針> 川越し街道の認知度向上の目的達成を目指して、情報発信に力を入れていきつつ、将来、民間主導を考慮した企画づくり・運営をしていく。</p>	

【資料3-11】

事業評価シート


事業名	緑茶化計画商品開発		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	6	担当課	広報課
継続年数（回数）	7年	事業費（R4決算見込額）	900,000円
目的	島田市の魅力を市内外に効果的に発信するため「地球上でもっとも緑茶を愛する街」のコンテンツを制作する。		
内容(詳細)	島田市緑茶化計画の新商品の開発し、蓬萊橋897.4茶屋やTOURIST INFORMATIONおおいなび等で販売を行うことで、事業者との連携を図るとともに、認知度向上を狙う。		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 島田市、（一社）島田市観光協会と連携 <次年度方針> 継続	
運営☒画	B	<方法> 新規コンテンツの開発提案・デザイン制作 既存コンテンツのブラッシュアップ	
		<工夫した点> 事業者が自費で自走できるような座組を用意する。 <次年度目標> 販売促進のためのPR活動の実施や情報発信	
マーケティング	B	<方法> HP、SNS、プレスリリース、広報紙、ラジオ等	
		<工夫した点> <次年度目標> ふるさと納税サイトやECサイトへ登録し、販路の拡大を図る。	

【資料3-12】

事業評価シート

事業名	諏訪原城グッズ販売事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付(施策の柱)	6	担当課	博物館課
継続年数(回数)	4回	事業費(R4決算見込額)	570,000円
事業終期年度(予定)			
目的	諏訪原城跡の来場者数の向上		
内容(詳細)	御城印、クリアファイル、缶バッジ、ハンドタオルといった諏訪原城グッズの販売		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 島田市</p> <p><次年度目標> 築城450周年記念グッズの制作</p>	
運営☒画	B	<p><方法> 諏訪原城グッズをデザインし、業者に制作委託を行い、完成した商品を諏訪原城ビジターセンターやお城EXPOで販売する</p> <p><工夫した点> 新しくハンドタオルを制作した お城EXPO限定御城印のデザインを、複数の課員から応募し、課内で抽選を行い最も人気のデザインを採用した。</p> <p><次年度目標> 築城450周年記念グッズを制作し、注目度を高め来場者数を増加させる</p>	
マーケティング	B	<p><方法> 島田市公式SNS、諏訪原城公式Instagram、新聞掲載、ラジオ出演、お城好きがよく見るHPへの掲載</p> <p><工夫した点> Instagramのストーリーで何回かに分けてグッズの紹介を行うことで、情報がより多くの人の目に留まるようにした。</p> <p><次年度目標> 築城450周年記念グッズは1年間限定販売の予定であるため、より広域に情報を発信し、発信回数も増加させる。</p>	

事業評価シート

事業名	展示コーナーの活用		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	7	担当課	図書館課
継続年数（回数）	事業費（R4決算見込額）		
目的	展示コーナーは、市民が文化活動の発表の場として利用できる場とする。		
内容(詳細)	金谷図書館入口に配置されている展示コーナーを活用し、絵画・写真・書道・手芸・工芸などの作品定期的に展示し、テーマに関係する本を紹介する特集コーナーを設置。市民の探求心を刺激し読書意欲を高め、地域への理解を深めることで郷土への愛着を育むとともに、図書館利用の促進につなげます。		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 島田市立金谷図書館 <次年度目標> 継続して利用の促進を図る。	
運営 	B	<方法> 利用期間は4月1日から翌年3月31日までの指定した約20日間程度とする。 <工夫した点> 団体の自主性を妨げないよう、側面支援を行う。 <次年度目標> 団体と連携し、必要な支援を行う。	
マーケティング	B	<方法> 広報紙・ホームページ <工夫した点> 展示された作品について、島田市立図書館Facebookで紹介、および静岡新聞ウィークリーガイドへの掲載依頼。 <次年度目標> 継続して効果的な周知を図る。	

【資料3-14】

事業評価シート

事業名	しまだ市民遺産		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	7	担当課	博物館課
継続年数（回数）	8	事業費（R4決算見込額）	0円
目的	「わがまちの宝」であると、市民が大切に守り伝えている物、美しい景観、伝統行事、祭りなどを「市民遺産」として認定し、市内外へ情報発信するとともに、後世へ引き継ぐ活動を支援し、地域づくりを推進する。		
内容(詳細)	3年に一度一般公募し、しまだ市民遺産審査委員会で審査を行い認定する。認定された市民遺産を市ホームページ等により広く市内外に向けて情報発信する。		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 島田市、しまだ市民遺産審査委員会 <次年度目標> 継続	
運営☒画	B	<方法> 審査・認定の実施。ホームページ等による広報。博物館ロビー掲示板で紹介。	
		<工夫した点> 認定した市民遺産の保存等の活動状況を把握するため、活動状況報告書の提出を求めるものとした。 <次年度目標> 認定した市民遺産の保存等の活動状況を把握し、必要に応じて活動支援等を行う。	
マーケティング	B	<方法> 広報紙、ホームページ。	
		<工夫した点> 認定した市民遺産の保存等の活動状況を把握するため、活動状況報告書の提出を求めるものとした。 <次年度目標> 認定した市民遺産の保存等の活動状況を把握し、必要に応じて活動支援等を行う。	

【資料 3 -15】

事業評価シート

事業名	島田の逸品		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	8	担当課	商工課
継続年数（回数）	8年	事業費（R4決算見込額）	732,000円
目的	シティプロモーションによる「島田市」の認知度向上を図るため、市内で生産、または企画・販売されている産品を、募集から審査の過程を通		
内容(詳細)	市内で生産・販売されている産品の中から、市の魅力を日本、世界に発信できるシンボリック的存在を「島田の逸品」として認定する。販路開拓等の支援を行いながら、市の認知度向上につなげていく。		
評価内容			
運営組織	A	<p><組織概要> 島田市、島田の逸品認定事業者、観光協会</p> <p><次年度目標> 継続</p>	
運営 図 画	A	<p><方法> 令和4年度は、産品を新たに募集・認定を行わず、現認定品の販路拡大及び認知度向上に努めた。島田の逸品販売会のほか、東京駅等でのイベントにて販売・PRを実施した。</p> <p><工夫した点> 新たな出展場所を開拓するなど、市内外で広くPRを行った。</p> <p><次年度目標> 新たな産品を募集・認定するとともに、販売会等で販路開拓支援・PR活動を実施する。</p>	
マーケティング	A	<p><方法> イベントでのチラシ作成、SNS発信、出展先のチラシ等への掲載</p> <p><工夫した点> イベント毎にチラシを作成したほか、市公式LINEやHPの活用に加え、島田の逸品認定事業者へSNS等での情報発信を依頼した。このほか、出展先のチラシ等に掲載を依頼することで、市内外に広く周知することができた。</p> <p><次年度目標> 市内外へのPR実施にあたり効果的な周知方法を研究する。</p>	

【資料3-16】

事業評価シート

事業名	アートによる地域づくり推進事業(UNMANNED無人駅の芸術祭)		
島田市文化芸術推進計画における位置付(施策の柱)	9	担当課	文化振興課
継続年数(回数)	5	事業費(R4決算見込額)	500,000円
目的	「無人駅がひらくと地域がひらく」をコンセプトに無人駅を現代社会の象徴と捉え、現代アートを手法にエリアの魅力や課題を顕在化させる取組		
内容(詳細)	大井川鉄道無人駅とそこから広がる集落を舞台に現代アートの制作展示を行う地域芸術祭。「ほりおこす」「あらわす」「ともにひらく」の3フェーズを軸に取組を進める。地域と作家の交流を軸に様々な地域での化学反応を起こす。加えて、ぼくらのまちじゅう文化祭「アートプラット／大井川」も開催。		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> NPO法人クロスメディアしまだ <次年度目標> 人材確保とそれに伴う予算の確保	
運営 (画)	A	<方法> ぬくりアート回廊プロジェクトやゲストハウスのオープン関係人口創出事業など、芸術祭に付随する取組が多々生まれている。経済産業省事業も採択を受け、里山とまちなかをアートでつなぐ事業も開催予定。 <工夫した点> 文化芸術事業だけでなく、経済産業省、農村デザイン、関係人口事業等、幅広い分野での事業を進めている。また静岡県総合計画に当事業名が掲載され、大井川流域の芸術振興を行政とともに計画に沿った取組を行っている。 <次年度目標> 東アジア文化都市事業と連動した海外作家の招致やアーティストインレジデンスの実施	
マーケティング	A	<方法> SNSによる発信の強化、作品制作や集落との関わりの「過程」の発信、ヌクリハウスと連動した発信、公式LINEの活用 <工夫した点> 国内唯一の美術専門誌、美術手帖web版の「2023注目の国際芸術祭10選」に選出されるなど、日本を代表する地域芸術祭として認知が進んでいる。 <次年度目標> SNS及び公式LINEのフォロワーを増やし継続的な発信を行っていく。	

【資料3-16】

事業評価シート

事業名	アートによる地域づくり推進事業(アートコミュニティ交流推進事業)		
島田市文化芸術推進計画における位置付(施策の柱)	9	担当課	文化振興課
継続年数(回数)	5回	事業費(R4決算見込額)	500,000円
目的	事業を通じて、新たな文化的視点を加えた地域の魅力を創造し、文化の振興と交流の促進、中山間地域の活性化を図るため		
内容(詳細)	グラウンドに茶室を建て、来場者に呈茶を行なう「ささま里山茶会」の開催と、茶会に関するワークショップを行い、茶道に関連する様々な日本文化を学ぶ機会を提供する。隔年で国際陶芸祭を開催し、間の年はアートコミュニティ交流推進事業を実施している。		
評価内容			
運営組織	A	<p><組織概要> ささま国際陶芸祭実行委員会</p> <p><次年度目標> ワークショップを通して技術・文化の機会の提供を継続</p>	
運営 図 画	B	<p><方法> 持続可能性を念頭に、少人数で深い交流と学びに繋がることを目指して検討</p> <p><工夫した点> イベントでは感染対策として、屋外の密にならない空間で距離を持って交流が出来るようにした。またレクチャーを組み込むことで、単なる「体験」だけではなく、参加者の「学び」に繋がるように工夫した。</p> <p><次年度目標> 今回の穴窯ワークショップに参加した人が主体となって、別のワークショップの開催が決まった。このような形で関係人口を引き続き増やしていきたい。</p>	
マーケティング	C	<p><方法> ・HPへの掲載 ・SNSでの発信 ・過去のイベント参加者へのDM ・ちらしの作成・配布</p> <p><工夫した点> 市内・近隣だけでなく、県外からも来場いただけるようこれまでの来場者やSNSでの情報発信に力をいれた。</p> <p><次年度目標> 台風15号の影響により、広報の開始が遅くなってしまった。より早くから広報活動が出来るようにしたい。</p>	

【資料 3 -17】

事業評価シート

事業名	大井川かわまちづくり		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	9	担当課	観光課
継続年数（回数）	6年	事業費（R4決算見込額）	2,000,000円
目的	蓬萊橋周辺の憩いと賑わいの場を創出する。		
内容(詳細)	大井川宝来地区かわまちづくり計画（平成29年度から令和3年度までの整備）に基づき、大井川左岸側の蓬萊橋周辺に観光トイレ、駐車場、蓬萊橋897.4茶屋・897.4広場などを整備し、利活用を促進することにより、より一層の文化・観光振興を図る。		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 島田市大井川ミズベリング協議会</p> <p><次年度目標> 大井川蓬萊橋右岸かわまちづくり計画（令和4年度から令和8年度までの整備）に基づき、右岸側を整備することにより、蓬萊橋左右岸の一体的な整備と利活用を促進することで、観光客等の利便性及び拠点性の向上を図り、さらなる誘客などを目指す。</p>	
運営☒画	B	<p><方法> 蓬萊橋897.4広場オープニングセレモニー・イベント「富士山Summerキャラバン」や「わんてらすin蓬萊橋」などを実施した。</p> <p><工夫した点> 愛好家などをターゲットとし、ノウハウのある関係事業者等と連携をして実施をした。</p> <p><次年度目標> 継続して蓬萊橋周辺の憩いと賑わいの場を創出する。</p>	
マーケティング	B	<p><方法> オウンドメディア、フリーパブリシティ、シェアードメディアの活用をした。</p> <p><工夫した点> 愛好家などをターゲットとし、ノウハウのある関係事業者等と連携をして実施をした。</p> <p><次年度目標> 継続して蓬萊橋周辺の憩いと賑わいの場を創出する。</p>	